かぜ ひかる　２００８年３月号

全国福祉保育労働組合東海地方本部
〒456－0006
名古屋市熱田区沢下町９－７
労働会館東館４０５
TEL 052-881-2971
FAX 052-881-2998
e-mail fukuhotk@onyx.dti.ne.jp
http://www.fukuho-tokai.jp/
発行責任者／横井　あかね

風光る

この春に七〇〇人地本の実現を

春闘勝利　組織拡大へ！

梅の花が満開になり、春待ち遠しい季節です。

過日の地本委員会では、08春闘方針、統一要求が全員一致で採択されました。七〇〇名地本は「一分会一人純増」で達成可能な目標であり、先ずは減らさないとりくみが必要です。

退職していく臨職分会員には次の職場でも、引き続きの組合加盟の働きかけを行いましょう。

新入職員には「組合を知る会」を行い自分たちの言葉で「なぜ組合なのか」熱く私たちの思いを語りかけ、ともに健康でいきいき働き続けることのできる職場づくりをすすめましょう。

今こそ団結してガンバロー！

私たちの要求実現のためには、より多くの仲間を組合に迎え入れることが大切です。私たちの誘いを待っているたくさんの仲間がいます。しかし、日々忙しい毎日の中で「仕事で精一杯。未組織に声をかけてもすぐに組合に入るかどうか…」という声も聞こえてきます。方針だからとりくむのではなく、各分会で討議を深め、分会の要求にしていくことが大切です。その中で改めて一人一人の要求を大切にした、要求で団結できる分会強化が計られていきます。

４／５には待ちに待たれた「ゆたか支部」の結成大会が行われます。ゆたか福祉会の中で要求を持った多くの人達を福祉保育労の仲間に迎えましょう。

中央本部の提起する「拡大キャンペーン」へのエントリーも含めて、各分会でも積極的な討議を期待します。

地域分会の開催をすすめ、元気な支部活動を！

少数分会、点在分会の仲間が私たちの周りにたくさんいます。そんな仲間たちに「仲間がいるってうれしいね」の思いを届けたいものです。

名南支部では一回目の地域分会を成功させてきました。厳しい職条件の中でも夢や希望を胸に、働く仲間たちがいます。「休憩もとれない」「拘束時間は10時間」「次々と職員が辞めていく」という職場の実態を聞きながら、先ずは何ができるか？非公然の仲間の声を聞きながらみんなで自分の問題として解決策を考えあいました。「職場の状況を聞いてほしい」思いがひしひしと伝わり、次回の地域分会の開催も決めています。

同じ地域で働く仲間たちとつながりを持ち続ける粘り強いとりくみを続け、是非各支部での地域分会を成功させましょう！

新入職員を５／10グリフェスまでに拡大しよう

３回の実行委員会が開催されました。新しい分会員をみんなでお祝いし、迎え入れると同時に私たち分会員全員が元気になる企画です。

こぞって参加を！

（組織部長　柏本多恵子）

昨年のグリフェスの様子↓

風の音

僕の職場は2歳児クラスまでの保育所。3歳になった子どもたちはこの4月からは「大きい保育園」へ行きます。就学前までの保育園へ行くことは「お別れ」でもあるのに（これはきっと大人の思いですね。）「○○ね～、大きくなったからね～、△△保育園にいくんだ～！」と、期待いっぱいの笑顔で話してくれます。そこには日々大きくなっていく自分への喜びがあふれています。自信たっぷりの言葉とその前向きな姿に、ずいぶん励まされているような気がします。

子どもたちの前向きな姿は、僕自身が置き忘れてきてしまった大事な思いを教えてくれます。とっても忙しいなかでも、子どもたちと一緒に「いいこと探し」ができるこの仕事に就いて本当によかったと思います。

わが家の2人の娘たちも新年度へむけての期待をうかがわせます。「新しい1年生がいっぱい入ってくるんだって～。（テレビながら）大変だよ。」「こんどね～、さくらさんになるんだもん♪」：不安もあるだろうけど新しい生活にむけて元気に前へ踏み出す気持ち。わが子ながら頼もしく思えます。寝顔を見ながら「元気」補充です。（一緒に寝ると自分が先に寝ちゃってることのほうが多いけど。）

年度の変わり目は「新しい出会い」の季節。どんな出会いがまってるんだろう？子どもたちの期待に自分の思いも重ねながら新年度を迎えたいと思います。新しい自分も発見できたら…なんて期待ももちつつ…。

（サッカーおやじ）

08春闘「NEXT」に向かって！！

２００７年１月26日（土）18時半より、労働会館本館第１～３会議室にて第15回地本委員会が開催されました。

各支部よりの地本委員・執行委員・オブザーバー合わせて76人の参加で、活発な討議が行われ、08春闘方針案・統一要求は全会一致で採択されました。

後日執行委員会では、「発言の中身がよかった。春闘に向かうぞという地本委員会になった。」「方針がきちんと伝わっているなという手ごたえが有った。」といった感想が上げられました。

その素晴らしい発言の数々を紹介します。

①名南支部・支部長・酒井委員
「少数点在の組合員の皆さんとつながっていく取り組み」

大会以降今年度は支部交流会を行っている。少数点在の組合員の方々がなかなか支部の活動に結集できていない状況があることを交流。名南支部のところで、多くの点在組合員とつながりを作っていくために、２／４に話し合いの場を設けることにした。点在組合員の職場状況などを交流しながら地域分会を目指し、地本の力も借りながら支えていけたらいいなと思う。

②尾張支部・支部長・桝谷委員
「平和問題」

民主党は「国防こそ最大の福祉」と言っている。「平和こそ最大の福祉」との違いをしっかり考えマスコミに流されないように、福保労としても明示すべき。２／17小牧ふれあいセンターで浅井もとふみさんの講演を行う。ぜひご参加を。

③千種名東支部・東市民病院ぽっぽ分会・小西委員「院内保育所の経過とご支援のお願い」

多くの院内保育所が外部委託化へ進んでいる。07／11に病院から夜間保育の人数の調査があった。08年度中に就学前保育も始め、施設の準備が始まるらしい。企業委託も視野にいれ良くする会で子どもたちを守るために学習を行ってきた。認可運動をしていきたい。

④昭天瑞支部・名市大分会・宮路委員
「春闘要求と名市大の状況」

春闘方針案の統一要求、非正規１０００円、名市大８hパートではクリアしているが一人暮らしでは良い条件ではない。さらなる改善を。

学内保育所の設立をめぐって大学側と話し合いをしてきたが結局は2つの保育所になる。ヨサポートが受託。どんぐりは遊ぼう会など行い、入所者を増やす努力をし、今後の将来展望を話し合っていく。要求書も提出する。

⑤熱中港支部・みなと福祉会分会・分会長・河辺委員
「署名の取り組みとみなと福祉会分会の現状・春闘に向けて」

人材確保の署名を達成できたのは「自分たちの事としてしっかり頑張ろう！」と意思統一して取り組んだから。２種達成！理事会から「人材確保の取り組みはどうなっている？」と聞かれた時に「署名を頑張っています」と胸を張って言えた。そのことが大事。

昨年春闘の確認書で「上半期決算をもとに一時金を支給する」と交わした。理事会は先手で上乗せと言ったがそれと別に組合は1ヶ月要求。08春闘前に一時金のことだけで2月中に団交する。理事会は、いつもゆたかやめいほくを引き合いに出し低い方に合わせようとするが、年間3.5ヶ月は守りたい。一人ひとりの意気込みが必要。

⑥昭天瑞支部・新端福祉分会・分会長・高羽委員
「臨時職員の方との要求作り、分会運営も含めてつながりを深めていく取り組みなど」

昨年1月に臨職の労働条件が改定され「昇給は労働意欲につながる」と訴えてきた。長く働いた人が引下げになる現象が起きた。分会をすると50人くらいになるので、定例の分会の前に臨職の声を聞くようにしてきた。少人数でゆっくり話していく。重ねていくことが大事。たんぽぽはできているが、こすもす・さざんかはできていないのでやっていきたい。12月に来年度の臨職の雇用についての要求書を出した。回答書はもらっていない。

⑦北守山支部・第二めいほく分会・大矢委員
「07団体交渉について経過」

07年度、めいほく・第二めいほく・めいほく作業所の３分会で理事会と団交を3回行った。要求内容はパート職員の時給を805円から845円に戻せということと、逆提案の生理休暇無給化は反対ということ。団交の中で、この団交のことが理事会で話しあわれておらず、理事長の独断が多いことが明らかになった。平行線ではあるが、皆からの激励に励まされた。まだ頑張る！

⑧三重・ぐみの木分会・分会長・清水委員「ぐみの木分会の状況」

1月、理事長が県立病院の院内保育所の委託に応募しようと思うと。認可園になって半年、まだ借金も多く大変なのに不安。しかし名市大の話はこういうことかと思ったり、企業に委託をさせてはいけない、食い止める役割も必要かと思うようになった。企業5社名乗り。

先日アレルギー食児に誤食をさせてしまった。アレルギー給食を作る加配はしているが食べさせる保育士の加配はない。市に要求していきたい。名古屋市への要求書やまとめを見て参考になった。9月に鈴鹿市交渉をした。大仕事をやり遂げた感でしばらくは組合がとまっていたが、勤務体制の見直し、パート要望などして組合っぽくなってきた。これを絡めて春闘にしていくんだと思った。より良い職場づくりのために自分達でできることから始動する!

⑨そよ風分会・分会長・後藤委員「07団体交渉の経過報告」

いろいろ出しても難しいので、要求を絞って給与のことだけで要求書を出した。そよ風の中で同じ仕事をしているのに、名古屋市格付けと独自給与で違うという矛盾。0回答。「たきこみごはん」を読んでください。なかなか分会が開けないがエネルギーをもらった。

⑩職対部・高島オブザーバー「春闘方針健康に係るところに補足」

病休者が増えている。メンタルヘルス多い。福祉保育労働の多様化でストレス多い。昔と違い日祝保育・夜間一時などで大変。障害高齢職場も日割り計算になり土祝開所が出て労働時間が増えている。働き方を見直し改善する事が大切。後回しにしないこと。復帰しても退職する人が多いということでは「病休者を出さない職場づくり」が大切。3/4に健康学習会、分会から多数参加を。福保労滋賀支部第一琵琶湖学園分会は産業医の配置を要求して勝ち取った。中央健康アンケートの提出をお願い。

⑪保育協・神田執行委員「公立保育園の廃園民営化反対に対する保育協としての取り組みと今後の課題」

保育協として保育ネットに結集し活動。保育施策のあり方指針や公立3カ園廃園の問題などあり、共同で公立父母の会オルグをし、20数箇所まわった。保育ネットはいろいろな立場の人がいる。この間さまざまな集会の中で、あらためて民間保育園の果たしてきた役割りや先駆性を学ぶことで、公立と民間が対立するのではなく共に手を結び合ってこそ名古屋の保育を守れることを確認してきた。引き続き活動していく。4/29には久屋広場で大集会を予定。保育協は各園の要求に対し、他園の知恵をもらえる場所でもある。内外の要求に沿える活動も考えていくのでご協力を。

⑫障害協・鈴木執行委員「障害種別組合員の拡大」

障害協は現在8分会にとどまっている。10分会にしたい。未組織職場訪問に取り組みたい。多くは定昇なし手当なし…、自立支援法のため日割り計算で収入減、仕事は増。「訪問して組合を広めていきたい。2/18の高齢職場との合同交流会は誰でも参加OK。「皆で頑張っていることを皆で語りましょう」「前向きな話をたくさんしましょう」3月の障害協は春闘交流会。5月にはあいされん加盟のところに拡大に行きたい。

最後に書記長から「全ての発言が方針を支持し且つ強化するもので、08春闘を大きく前進させようという意思統一が出来た地本委員会であった。」というまとめがされました。

1つ1つ取り組みを積み重ね、各分会・支部・それぞれの種別専門部皆が「NEXT」を!

【シリーズ・私のおすすめ】

「忍者屋敷」

けやきの木分会　石谷　圭子さん

小さいころ忍者にあこがれて、忍者ごっこなんてやったことありませんか?子どもにとってヒーローというか、憧れ的な存在である忍者。手裏剣を投げるまねをしてみたり、隠れたり・・・そんな子ども時代を思い出させてくれたのは、甲賀にある忍術屋敷でした。「忍者といえば?」と聞かれれば、伊賀と甲賀ですが、私が訪れたのは甲賀にある「甲賀の里　忍術村」と「甲賀流忍術屋敷」です。

忍者屋敷に入ってみれば、もうワクワク感いっぱいです。自分で隠し扉を探したり、よじ登ってみたり、「あ!こんなところに!」といった発見の連続で大人になった今も子どものようにはしゃげてしまいます。もちろん手裏剣も投げられる体験もありますよ。アニメの世界では、忍者は手裏剣をいっぱい投げているイメージがありますが、本当は手裏剣をあんなに投げるということはないそうです・・・。

そんな手裏剣も実際に投げてみれば、もう忍者さながらな気分になれます。私も、忍者の衣装を見につけ、手裏剣を投げて、忍者気分を味わってきました。

もちろん忍者気分を味わえるだけでなく、歴史の勉強にもなります。少しタイムスリップしてみるのもいいですよ。

3／4（火）健康調査実行委員会の学習会
「職場の安全衛生活動にどう取り組むか」
70人以上の参加者で学ぶ！

3施設からの報告

こすもすでは、安全衛生委員会を時間内で行い、検診結果などで職員の健康状況をチェックしていること。めばえでは、病休者がでたときに、今後そうならないために取り組んできたこと。かわらまちでは、中央労働災害防止協会のHPを利用してメンタルチェックをしたり、始業前5分の時間内ストレッチを位置づけていること。等々が話されました。

フロアーからも・・・

職場での安全衛生委員会の取り組みの努力や難しさ、質問などが出され、小野先生から、仕事をする時は「まずは相手とは考えがちがう、と思って仕事をする」ことが大切であることや、産業医を各園に一人、というのは難しいがいくつかの職場で一人雇うなどすれば実現しやすいというような具体的アドバイスをもらいました。

ジェネレーションギャップ

正しいことをやっている者同士がうまく行くとは限らない

小野先生曰く…「今の40代以上の人はなんでも思ったことは言い合いながら、仕事をしてきたたたき上げの人であり、そういう人から見ると若い人は頼りなく見える。20代の人は色々思っていてもなかなか言えない現状がある。そういう人に昔と同じ人間関係のように厳しく接してうまく行くわけがない。精神構造が崩れる。20年違えば頭の中は違う。悪気があるのではなく良いと思って一緒にやっていても、意思が通じないことが実際にある。保育の考え方を調整する力があまりない。保育は学問的に確立しているかというとそうではなく、常に変化し・進化していき経験だけで語るのは疑問。そこのところではお互いにいいところ、悪いところをじっくり考えることが必要。経験ゆたかな人は優しく、若い人は言えるように双方努力して、話し合うことが大切。」

そして職場システムとして

「合わなければ配置換えをする必要もあるし、それを見る産業医がいないと難しい」と話されました。「今、システムを真面目に作る！、多少金払ってでもやらないと！という気持ちがないと、このメンタル疾患は無くならないですよ。」とピシャリ！

大変厳しいお話でしたが…

健康調査や面談結果結果から見えてくることはこれだけ深刻だということです。私たちは、職場全体でこのことを受け止めて具体的に改善施策を取っていかなければと痛感しました。

森岡先生による ストレッチ実践指導

今回はストレッチの仕方を学ぶというより、肩こりなど「なぜ」起きるのか、ということを聞き勉強になりました。「なぜやるのか、というのがわかってないと続かない」という先生の言葉に、わかっているつもりだけどなかなか続けられない私はドキッとしました。どういう姿勢だと体に悪いのか、具体的に保育の中の姿勢を元に話をしていただきわかりやすかったです。

ストレッチをすると体が柔らかくなる。逆にやらないと体は硬くなり、柔軟でない体はとても傷つやすいから柔らかくすることが大切だと話されました。

たった1回だけでも効果あるのだから、忙しい中でもストレッチを継続してやっていくことは大切だという話に納得です。

分会で取り組みを

早速、私の分会では次の分会で報告をして、健康で生き生きと働き続けられるように取り組んでいきたいと思います。

福祉・保育の仕事は健康が基本です。各分会で今回の学習会の報告をし、一人一人のものにして元気に働きつづけていけるよう08春闘に取り組みましょう。

（職対部／高島・藤原）

健康サポート　一口情報

どこの病院に行けばよいのか…と悩んだら…

☆けいわん・腰痛等の症状で辛い…というときは、南医療生協のかなめ病院室生医師と後藤院長をお薦めされました。後藤Drは金曜の夜は南医療生協病院にもでているそうです。行く前には病院へ電話して確認してからが良いでしょう。

かなめ病院052-619-5320

総合病院南生協病院052-611-6111

【編集後記】

今年度も残すところあと1ヶ月弱。毎年毎年同じことを言って芸がないのですが、敢えて言わせてください。「この1年早かったなぁ～」と。年を追うごとに、1年が短く感じていきます。単純に5歳のときの1年間は5分の1年。26歳現在の1年間は26分の1年なのだから、短く感じて当然なのですが。でも、どう過ごしても1年は1年！折角四季のある日本に生まれたのだから、季節の移ろいを感じながら日々大切に過ごしていきたいですね。

さて、3月20日は春分の日です。この日は昼の時間と夜の時間がほぼ同じ長さであるということと、もうひとつ、太陽が真東から昇って真西に沈むというのが特徴です。

昔の人は、この「春分」を目安に種を蒔いたのだそうです。寒い冬もそろそろおしまい！新しい年度を迎えるにあたり、私たちもそろそろ自分の種を蒔いてみませんか？

「種」といっても、植物の種とは限りません。物事のもとになるものを「種」と書いて「くさ」と読みます。「思い種」「笑い種」「語り種」などなど。どうせ蒔くなら、すてきな芽が出る種がいいですね。（C）